

「さようなら」ということば  
ソシニパチャニ  
私は「さようなら」と言うのがきらいです。  
なぜなら、また会うことができなからです。  
高等学校の時、私はずいぶん大人しかった。  
ので、友だちが少ししかいませんでした。あ  
る人が私に大切な人になりました。いつでもも  
困った時があればその人に相談します。それ  
に私たちはいろいろな所へいっしょに遊びに  
行きました。その時はとてもたのしかったです。  
ですが、時間が過ぎるのははやかったです。  
そつぎようしてから、私たちは大学に入って  
ちがう道へ行くことになったので、「さよう  
なら」と言わなければなりません。そ  
れから、たまにしか友だちに会わなくてもま  
だれんらくを取り合いました。いつの間に  
かそえ人になりました。  
大学の時、始めはちよっとさびしかったです。  
すが、すぐ私はほかの人と友だちになりました。  
たから、高等学校の時の気持ちに帰りました。

不運にも、大学生活の一年後外国へ勉強をし  
に行かなければなりませんでした。それで、  
もう一度「さようなら」と言いました。前に  
そんなことを言ったことがあったこともまたかな  
しくなりました。私の友だちも同じ気持ちだ  
と思います。

その日から私は一人で生活しています。み  
んなは大人になると成長します。それでも、  
ときどきその人がいなくてさびしいし、一人  
で生活するのもさびしいです。でも、だんだ  
んこんな気持ちになれてきました。私はもう  
わかりました。私たちはまた会うために「さ  
ようなら」と言うのです。いつかみんなに会  
え<sup>ます</sup>まように。なぜなら、私たちはいつまでも  
友だち同士でいたいからです。